

教科目名 プロジェクト演習Ⅲ (Project Seminar Ⅲ)

専攻名・学年 : 機械・環境システム工学専攻 2年 (教育プログラム 第4学年 ○科目)

単位数など : 選択 1単位 (前期1コマ, 授業時間 23.25時間)

担当教員 : 軽部周 尾形公一郎 坂本裕紀

授業の概要			
専攻科卒業のためには、四年制大学卒業相当の学力が要求される。この教科では、実際に使われた大学院入試問題を解くことにより、大学卒業レベルの学力を養成する。取り扱う分野は主に専門科目(材料力学・機械力学・流体力学)とする。特に他大学大学院への進学を考えている学生にとって、本教科は有用である。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(B2), JABEE 目標(g)	
(1) 材料力学・機械力学・流体力学の基礎学力を身につけることができる(課題)。 (2) 演習問題を通して大学院入試問題に対応できる応用力を身につけることができる(課題)。			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・演習問題は、機械力学・材料力学・流体力学の各教科から一つ選ばれ、授業開始時に配布される。 ・授業は各教科を専門とする教員が担当する。授業の概要について、各教員からオリエンテーション時に説明がある。 ・授業後半に教員による解説があるので、自己採点をし、理解できなかった部分を確認する。 ・課題を行い、理解度を確認する。 	【理解の度合い】
2	機械力学演習		
3	〃		
4	〃		
5	〃		
6	〃		
7	材料力学演習		
8	〃		
9	〃		
10	〃		
11	流体力学演習		
12	〃		
13	〃		
14	〃		
15	〃		
履修上の注意 問題を解く上で必要な教科書類を用意することが望ましい。			
教 科 書		授業時にプリントを配布する。	【総合達成度】
参 考 図 書		機械力学：下郷 太郎, 田島 清瀬 共著, 「振動学」, コロナ社。 材料力学：前澤成一郎訳, 「改訂材料力学要論」, コロナ社。 流体力学：神部勉編著, 「基礎演習シリーズ 流体力学」 裳華房。	
自学上の注意		予習として教科書, 参考図書に関する基礎的事項および語句の学習を行うこと, 復習として課題および演習問題を解くこと。	
関 連 科 目		材料力学 I, II, III (M科), 熱力学 (M科), 機械力学 I, II (M科), 水力学 (M科), 流体機械 (M科), 材料力学演習 (M科)	
総 合 評 価		総合評価 達成目標(1), (2)について以下の基準で評価する。 総合評価 = (機械力学課題), (材料力学課題), (流体力学課題)の平均点 再試験及び再レポートは実施しない。ただし本人の不可抗力による入院, 事故や病気等の特殊事情を科目担当者が認めた場合は特別措置を講じる場合がある。	